

## 古川晶子実績 2013～

平成 25 年 4 月

埼玉県男女共同参画推進センター利用者懇談会 座長（平成 29 年 3 月まで）

平成 26 年 1 月

埼玉県若年無業女性の支援に関する研究会 委員（平成 26 年 6 月まで）

平成 29 年 4 月

さいたま市市民活動推進委員会 委員（現在に至る）

平成 30 年 10 月

一般社団法人地域連携プラットフォーム キャリアコンサルタント養成講習運営委員会委員（現在に至る）

平成 25・26・29 年度

埼玉県「女性からの政策提言講座」

埼玉県男女共同参画課の講座企画公募に採択され受託団体として県内各地で実施。事業の主な目的は県内の各種政策審議会において女性の委員（特に公募）たり得る人材の発掘。対象は地域の成人女性で、「政策」という言葉に敷居の高さを感じると想定し、ジェンダーの基礎知識を受講した後、グループ学習により「女性が日々の生活で感じる、納得いかないこと・もやもやすること」を言語化・発表するプログラムを企画・実施。参加者からこれまでに 2 名の女性議員が誕生（さいたま市・川越市各 1 名）。

令和元年

男女共同参画センター職員等への研修

新たに着任する市職員等に、男女共同参画行政の趣旨や当該事業の目的等を伝えるミニ講習を担当。

4 月：事務職員 1 名、相談員 4 名

5 月：情報紙編集委員 4 名

10 月：事務職員 1 名

平成 28 年度～平成 29 年度

「園活ナビゲーター」スーパーバイザー

合同会社まのえんの「園活ナビゲーター」（平成 28 年度内閣府女性活躍推進事業として採択、29 年度は自主事業）において、保育園・幼稚園の情報を求める子育て女性の相談に対応するナビゲーターの研修と、毎月の事例検討を担当した。

平成 26 年～平成 30 年

跡見アカデミック・インターンシップ・プログラム参加学生の指導

跡見学園女子大学マネジメント学部マネジメント学科 2 年生の、女性を主とする企業等での活動を経験するプログラム。5 年にわたり各年 1 名を受け入れ、講座運営等とともにしつつ、生涯学習やライフキャリアについて考察するよう指導。

平成 29 年 1 月

「活躍推進」は女を救う、か？ 伊奈町男女共同参画推進協議会 委員学習会

平成 29 年 12 月

「女性に支持される同僚・上司とは？」 埼玉県空調衛生設備協会

平成 31 年 2 月

「これからの、家族のカタチを考える」 飯能商工会議所 女性会

令和元年 7 月

「男女共同参画」って何だろう？ さいたま市生涯学習アドバイザー 定例会

令和元年 9 月

「家族に介護が必要になったら」 日本政策金融公庫 ワークライフバランス勉強会

令和元年 11 月

「WLB・働き方改革セミナー」 関東財務局 管理者研修

平成 25 年度～現在に至る 計 24 回+

中小企業サポート人材開発プログラム

東京しごと財団主催。大企業等に長く勤務しマネジメントを経験した 55 歳以上の男女を対象に、主に中小企業への再就職を支援するプログラム。働き方を組み立て直し、中小企業の経営者をサポートするための素地をつくる学習を担当。

平成 26 年度

女性就職応援セミナー「主婦力を仕事力に」 計 10 回以上

埼玉県ウーマノミクス課の講座事業。年間にわたって、県内各地（川口・入間・所沢・白岡・宮代・さいたま）の会場で開催。古川は「blankがあっても働けるか」「家事や子育てと並行して働けるか」などの懸念を持ちつつも働くことを希望する女性たちに、多様な働き方の選択肢と、自分自身の生活環境や今後への希望を照らし合わせつつ、現実的な戦略を組み立てるための、基礎知識とワークショップの学習およびフォローアップを担当。

平成 26 年度～令和元年度

男性カレッジ「ライフキャリアメンテナンス集中講義」 計 5 回

さいたま市男女共同参画推進センター主催。男女共同参画政策においては生きづらさを感じる女性の支援が主な取り組みであるが、社会の変化に伴って男性支援の必要性も浮上している。男性の生きづらさを、主にライフキャリアの観点から読み解く学習を担当。

平成 27 年度～平成 30 年度

はじめての NP0・コミュニティビジネス 計 20 回

東京しごと財団主催。求職活動中の55歳以上の男女を対象に、これまであまり馴染みがない社会的活動について知り、選択肢の一つに加える可能性を示すプログラムで、同財団が運営する「NPOスタッフ体験プログラム」等と連携。社会や地域の課題が、自分や家族の人生とつながっていることに気づく機会としてのワークショップを担当。